

あおやま通信

梅雨入りし毎日蒸し暑い日々が続きますが、お変わりなくお過ごしでしょうか。
さて、先月より再開となった施設内に入っていたいただいたの面会ですが、7月以降も引き続き行っていくこととなりました。
こちらの方で設けさせていただいたルールについてですが、現状維持のままとさせていただきます。

七夕飾り



消防訓練



日常の業務の中でも消火器の場所や避難経路の確認ができるよう、定期的に訓練を行います。防災設備の使い方や限られた人員でどう動くかなどを確認し実際に消防署とやりとります。



【利用者様の願い事】

・子供が元気で幸せでいて欲しい ・世の中が平和でありますように ・元気で過ごしたい ・シビレが治るように ・大好きな息子との面会が楽しみ ・来年も元気でいたい ・幸せいっぱい胸いっぱい ・あんこ入り饅頭が食べたい ・足が良くなるように ・いつもありがとう長生きできますように ・主人と2人幸福に などなど

【職員・子供の願い事】

・家族みな健康で過ごせますように ・旅行に行って美味しいものが食べたい ・ミッキーマウスになりたい ・「物価」と「体重」の上昇が止まるように ・暑すぎず、寒すぎず過ごしたい ・宝くじが当たりますように ・マスク生活が早く終わるように ・水族館でカクレクマノミにあえますように ・金運招福 などなど

栄養課便り

7月になり雨上がりの青空に夏の訪れを感じます。

日本では夏の暑さに対する滋養強壮としてうなぎを食べて精をつけ、無病息災を祈願するための日として「土用丑の日」があります。うなぎにはビタミンA、B群、E、Dなどの栄養が豊富に含まれています。特にビタミンAは、100グラム食べれば成人の一日に必要な摂取量に達する量です。ウナギを食べる習慣は江戸時代後期に始まったものですが、もともと丑の日には「う」の付くものを食べるという習慣があり、古くは瓜やうどん、梅干しなどが食されていました。体調を崩しやすい季節の変わり目を健康的に過ごせるよう、昔の人が行ってきた知恵のひとつです。

管理栄養士 稲原 彩水